昇降機保守“ELE-FIRST”

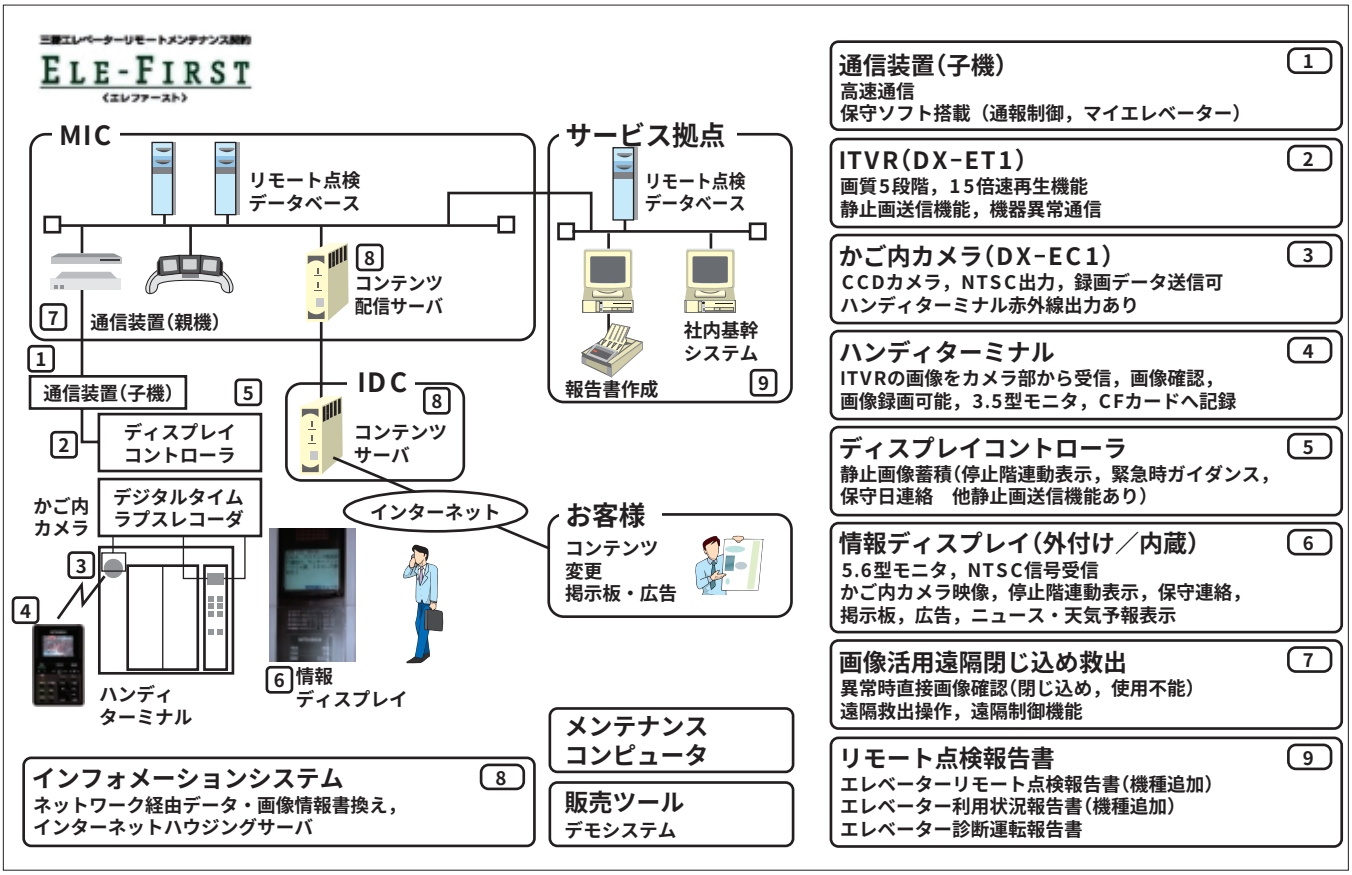
塩崎秀樹*
文屋太陽*

要　旨

エレベーターはビルの交通手段として欠くことのできない設備ゆえ，常に利用者が安心して利用できるよう，安全かつ快適な運行が要求される。また，稼働率の向上を図るため，故障や点検による停止時間を短縮することが求められている。

1996年に発売した24時間365日にわたり運行状態を監視・診断する“変調診断機能”を搭載した“三菱ニュースーパーメンテナンンス契約”をベースに，基本機能を充実した“三菱エレベーターリモートメンテナンス契約（ELE-FIRST）”を2003年４月から発売した。ELE-FIRSTは，エレベーターシステムの重要機器と管制運転機能を高密度・高精度で点検する“遠隔診断運転機能”と，かご内に閉じ込められた乗客を“音声”と“かご内画像”を確認した上で情報センターから救出する“遠隔閉じ込め救出機能”を標準装備する。また“防犯カメラ録画サービス機能”，ビルオーナー・テナントとエレベーター利用者のコミュニケーションを密にする“インフォメーションサービス機能”をフレキシブルメニューとして装備する。

対象機種は，現在生産中の“ELEPAQ-i”（VFGL），“ELEMOTION”（VFEL-RN／RM／R）とする。



ELE-FIRSTのシステム構成

ELE-FIRSTのシステム構成を示す。“画像活用遠隔閉じ込め救出”“インフォメーションシステム”“操作盤内蔵情報ディスプレイ”は業界初の機能である。リモート点検システムの高機能化に合わせ，通信装置（子機），ITVR，かご内カメラ，ハンディターミナル，ディスプレイコントローラを新規又は一新した。

*三菱電機ビルテクノサービス㈱